

あわらの市の 子どもたち

令和6年度

全国学力・学習状況調査

「全国学力・学習状況調査」は、文部科学省が全国の児童生徒（小学6年生、中学3年生）を対象として行う調査です。児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証しその改善を図ること、また、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てることを目的とし、平成19年度より実施されています。学力を問う出題だけでなく、児童生徒の学習環境や生活環境の質問紙調査も行われています。

この度、令和6年4月に実施された調査について、本市の結果を公表します。この結果については、調査日時点でのものであること、成長過程の子どもたちの限られた教科の結果であること、また、学習状況の部分的な調査であることをご承知おきください。

本市としましては、教育活動を評価するための一つの資料として有効に活用してまいります。また、児童生徒の学力の向上には、学校と家庭、地域の連携が不可欠です。今回の公表結果を通して、三者の連携体制をより一層強く築くための一助にしたいと考えております。みなさまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

■調査対象

小学校6年の児童及び中学校3年の生徒

■調査事項

- 1 教科に関する調査
 - ・小学校国語、算数
 - ・中学校国語、数学、
- 2 教科に関する調査の内容
 - ・知識と活用を一体的に問う問題形式で出題
- 3 質問紙調査
 - ・生活習慣や学習環境に関する質問



■教科に関するあわらの市の調査結果から

全国・県平均正答率との比較(Pはポイント)

3P以上高い→◎ 0～3P高い→○ 0～3P低い→▽ 3P以上低い→▼

小6	国との比較	県との比較
国語	◎	○
算数	◎	○

中3	国との比較	県との比較
国語	▽	▽
数学	○	▽

【小学校 概要】

小学校の平均正答率は、昨年に引き続き、全ての教科（国語、算数）において全国や県の平均正答率を上回っています。

また、国語、算数の「知識・技能」、算数の「思考・判断・表現」は全国や県の平均正答率を上回っています。しかし、国語の「思考・判断・表現」は全国の平均正答率は上回りましたが、県の平均正答率は0.5ポイント下回っていました。

【小学校 教科別の成果と課題】

小学校国語

「良好」な内容

- 目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、伝え合う内容を検討すること
- 日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与することに気づく
- 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと

「課題」となる内容

- 資料を活用して、自分の考えが伝わるよう表現をくふうすること
- 人物像や物語の全体像を具体的に想像すること

小学校算数

「良好」な内容

- 折れ線グラフから必要な数値を読み取り、条件に当てはまることを言葉と数を用いて記述すること
- 道のりが等しい場合の速さについて、時間を基に判断し、その理由を記述すること
- 除数が少数である場合の除法において、除数と商の大きさの関係についての理解

「課題」となる内容

- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係を考察すること
- 簡単な二次元の表を読み取り、必要なデータを取り出して、分類整理すること

【中学校 概要】

中学校の国語の平均正答率は全国や県の平均正答率を少し下回っています。数学は全国の平均正答率は上回っていますが、県の平均正答率は下回っています。

また、全ての教科において、「知識・技能」及び「思考・判断・表現」ともに全国の平均正答率は上回っていますが、県の平均正答率は下回っています。

【中学校 教科別の成果と課題】

中学校国語

「良好」な内容

- 文脈に即して漢字を正しく書くこと
- 行書の特徴を理解している

「課題」となる内容

- 短歌の表現技法について理解している
- 文章と図とを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈すること
- 具体と抽象など情報と情報との関係について理解している

中学校数学

「良好」な内容

- 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明する
- 与えられたデータから最頻値を求めることができる
- 複数の銃弾のデータの分布から、四分位範囲を比較することができる

「課題」となる内容

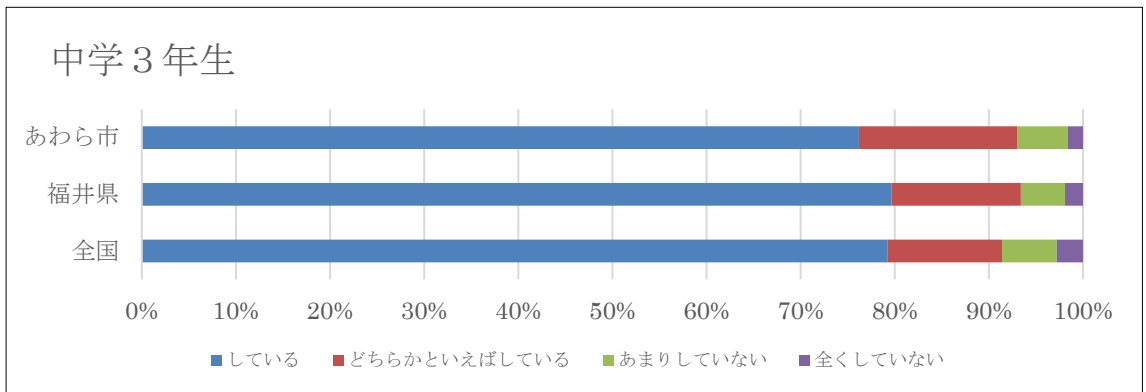
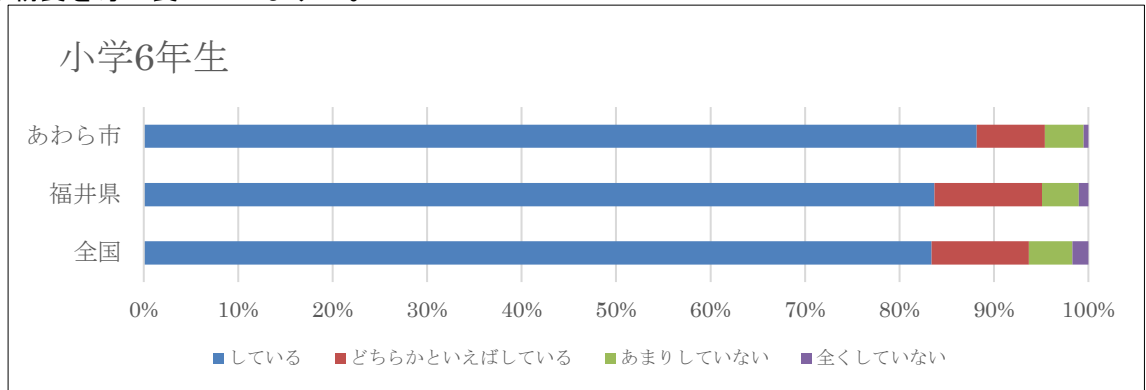
- 図形を読み取り、筋道を立てて証明することができる
- 一次関数について、式とグラフの特徴を関連付けて理解している
- 事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる

■児童生徒質問紙調査の結果から

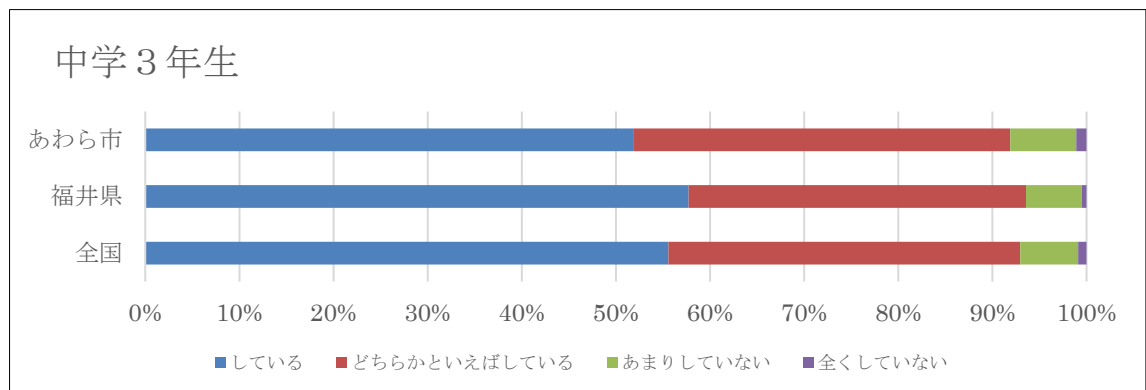
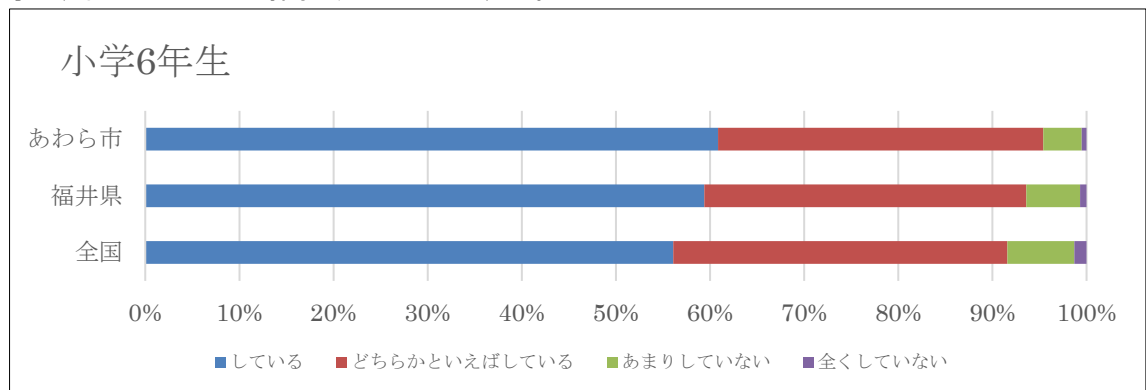
生活習慣

「朝食を毎日食べる」「毎日、同じ時刻に寝起きしている」など規則正しい生活を送っている児童生徒が多いようです。

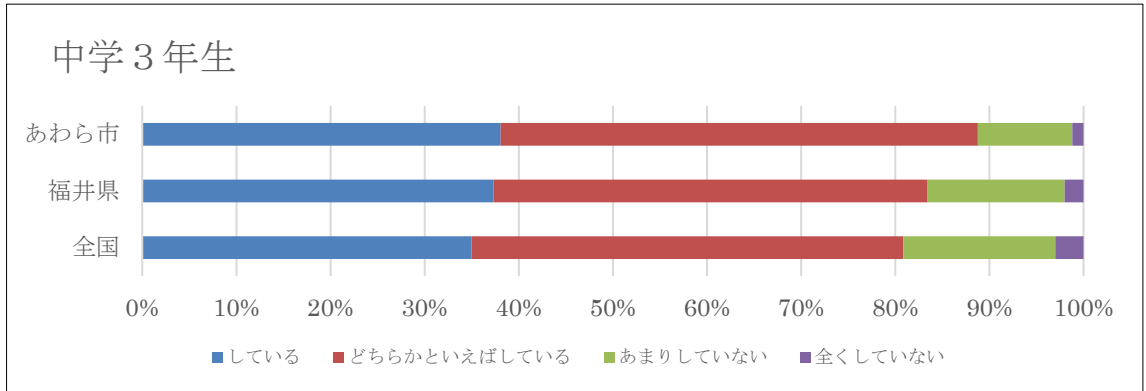
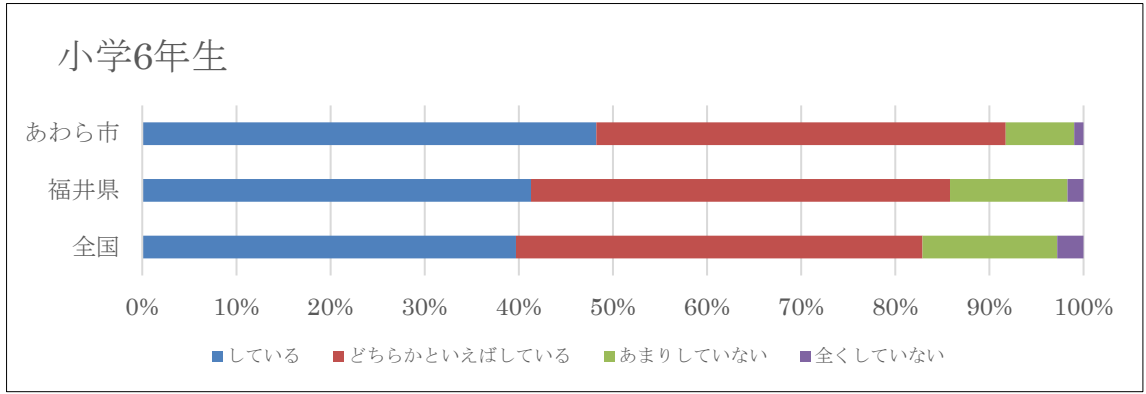
○朝食を毎日食べていますか。



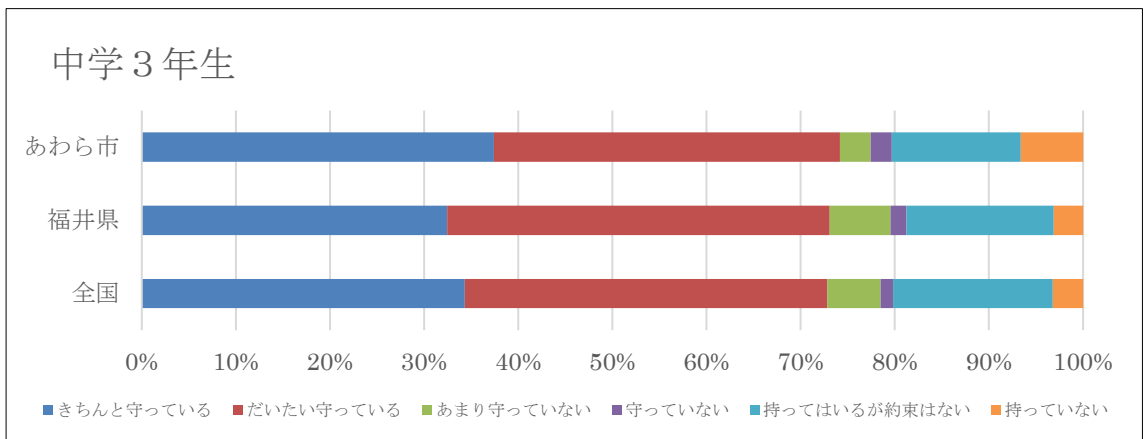
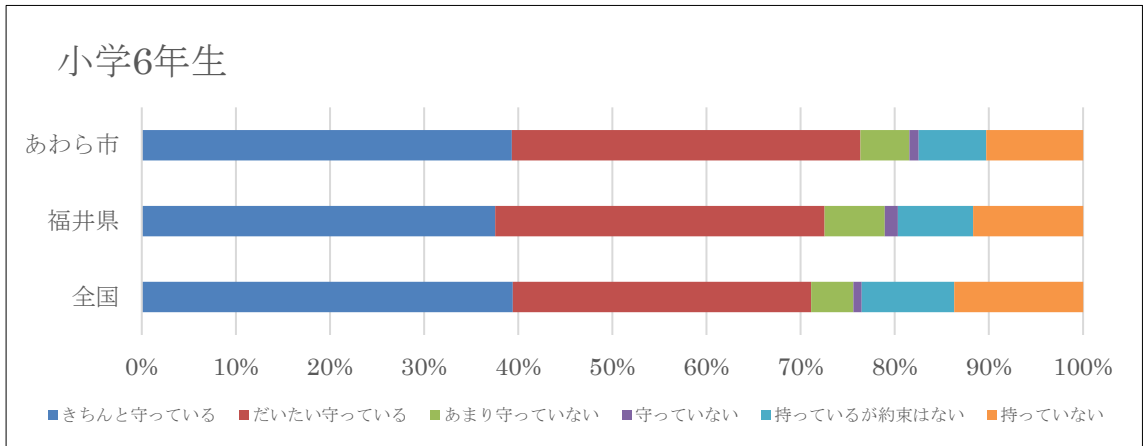
○毎日、同じくらいの時間に起きていますか。



○毎日、同じ時刻に寝ていますか。



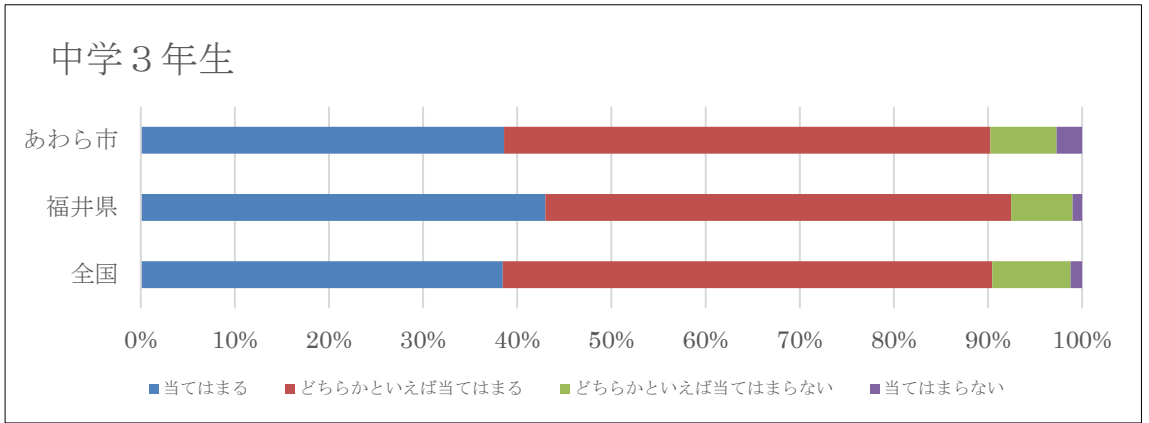
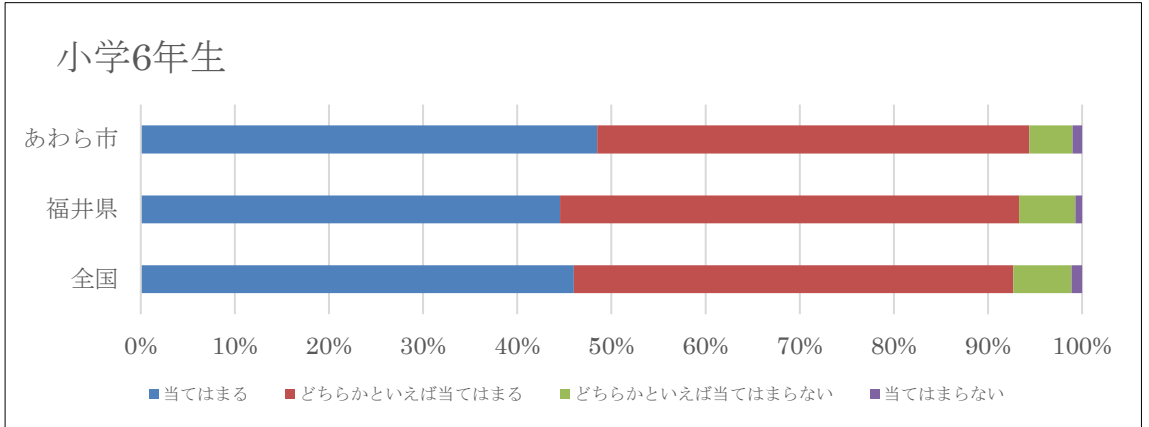
○携帯電話・スマートフォンやコンピュータのつかいかたについて、家の人と約束したことを守っていますか。



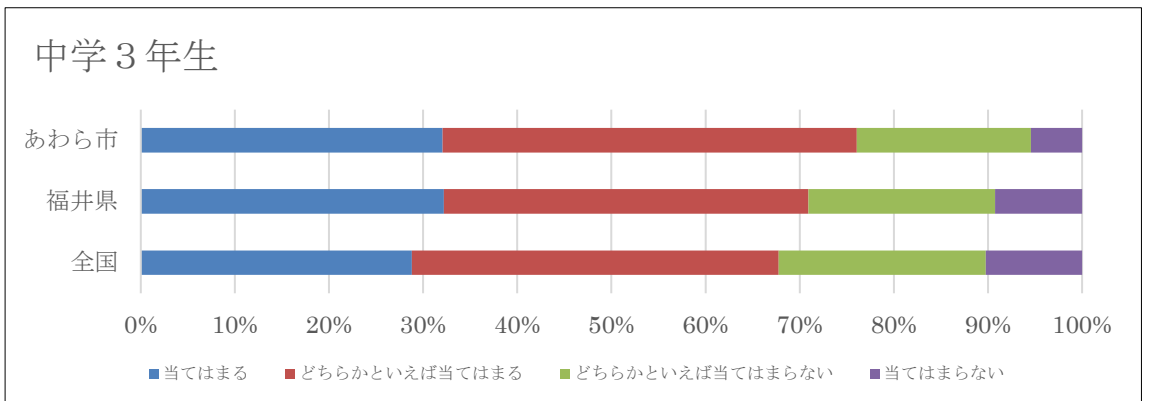
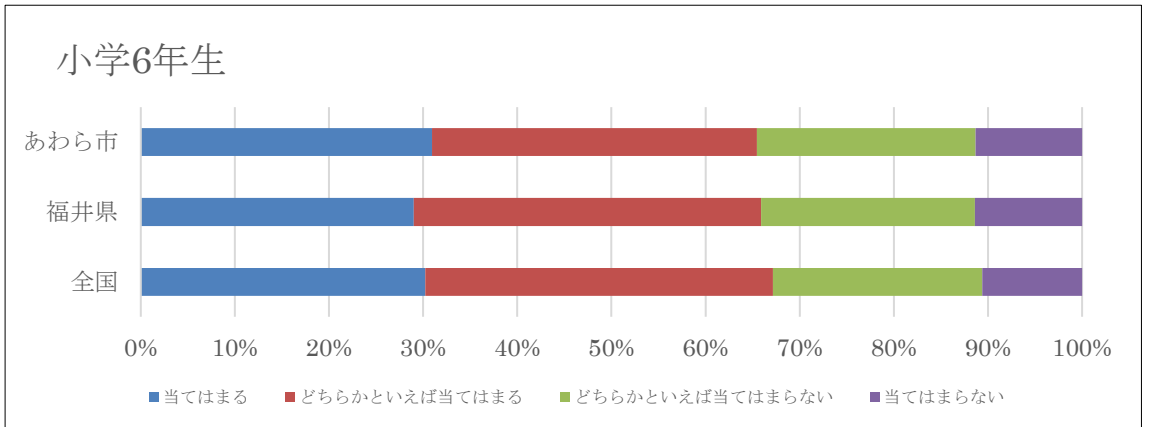
いじめ

いじめはどんなことがあってもいけないことです。このことについては、引き続き真剣に考えていかなければなりません。また、困っている人に対して、見て見ぬふりをしない、困ったらひとりで悩まず大人に相談できる雰囲気大切です。

○人が困っているときは、すすんで助けていますか。



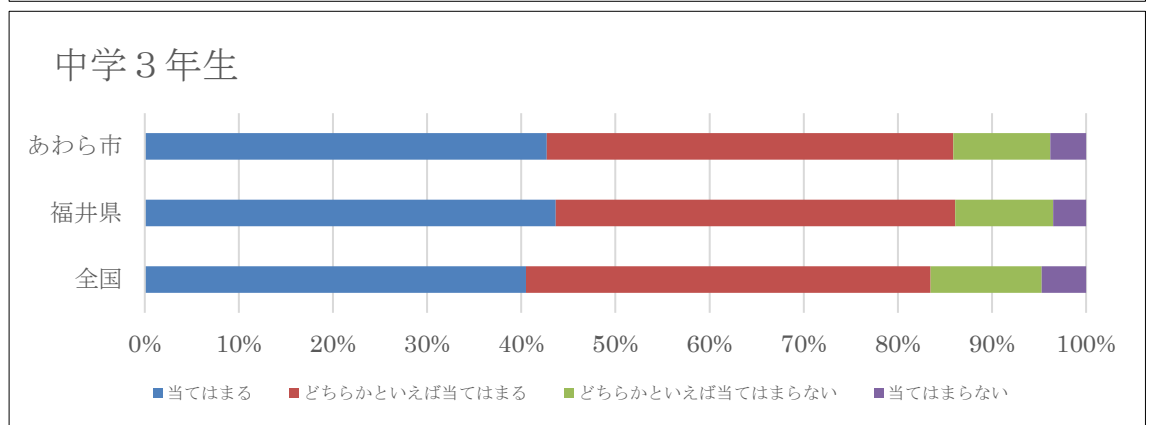
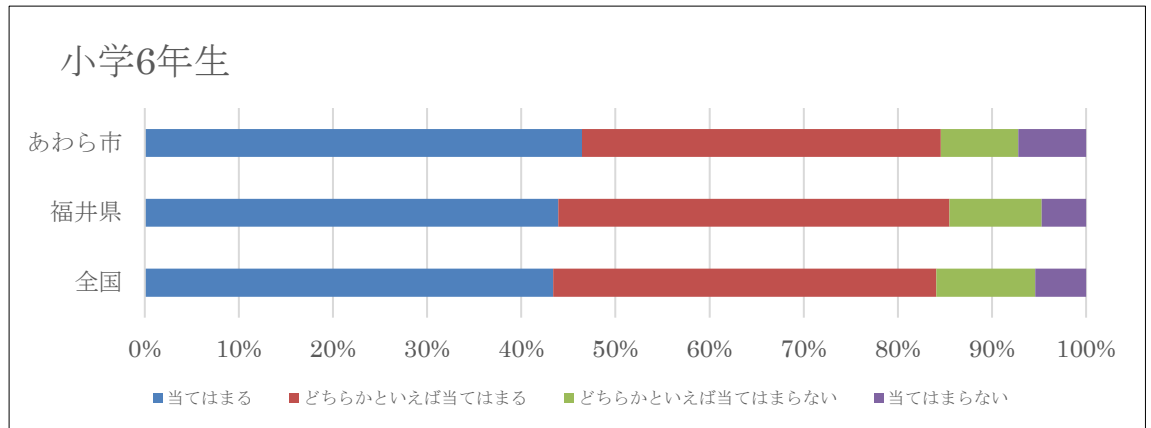
○困りごとや不安がある時、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか。



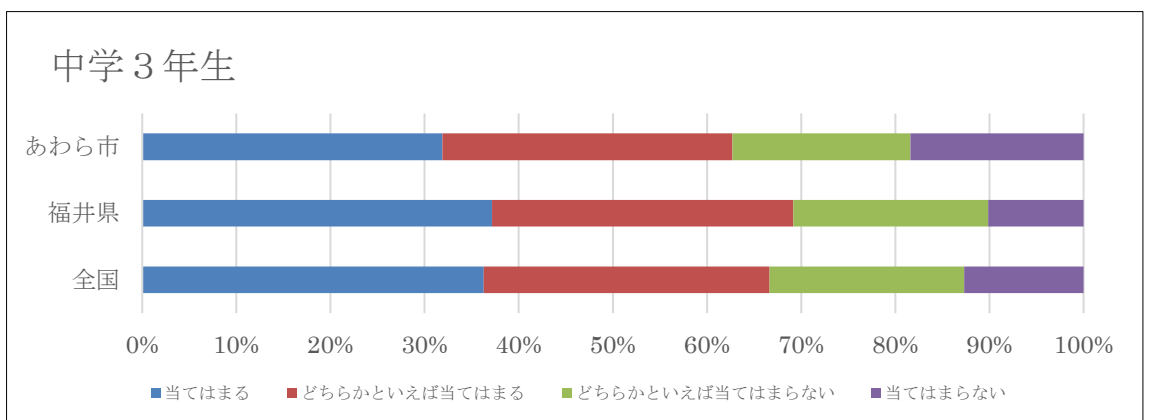
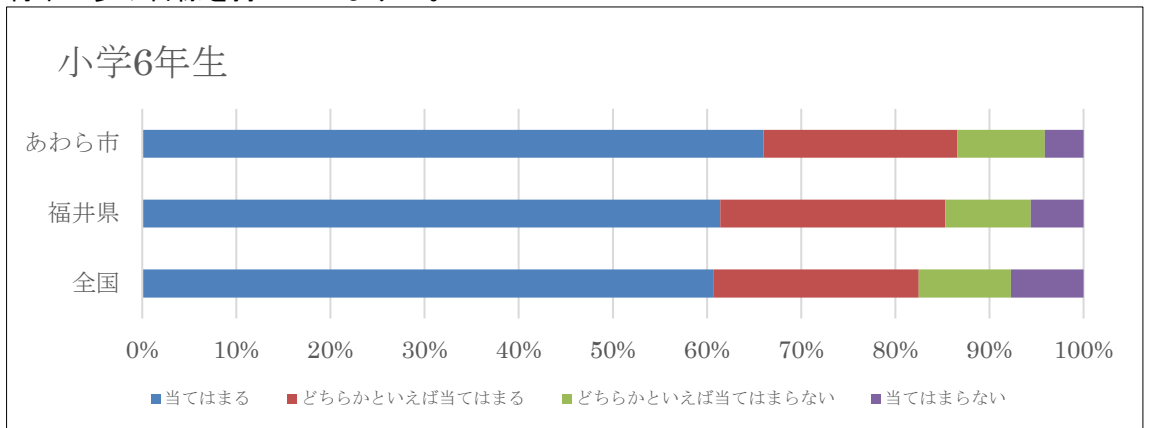
自尊感情等

「自分に良い所がある」、「将来の夢や目標を持っている」、「人の役に立つ人間になりたい」と答えた小学生の割合が高いです。中学生は、「夢や目標」を人には言えなくてもしっかりと自分でもっていることが大切です。

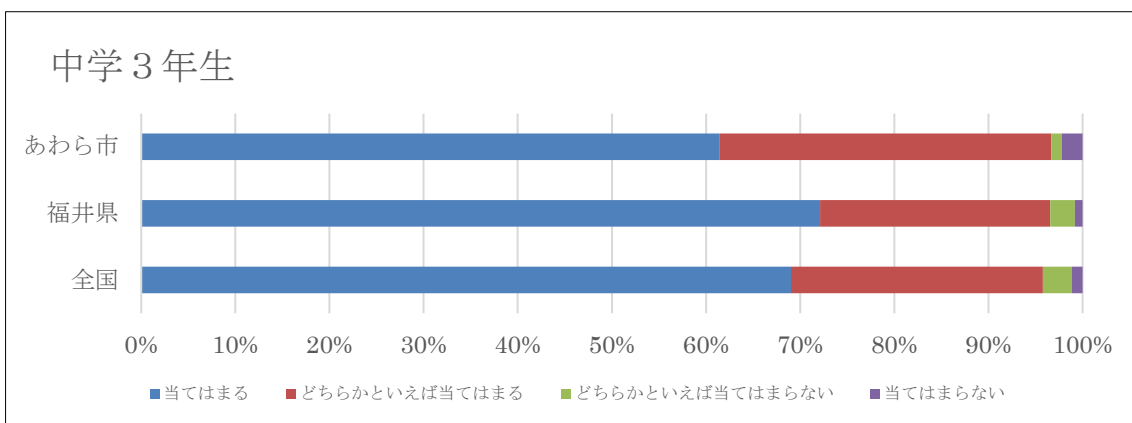
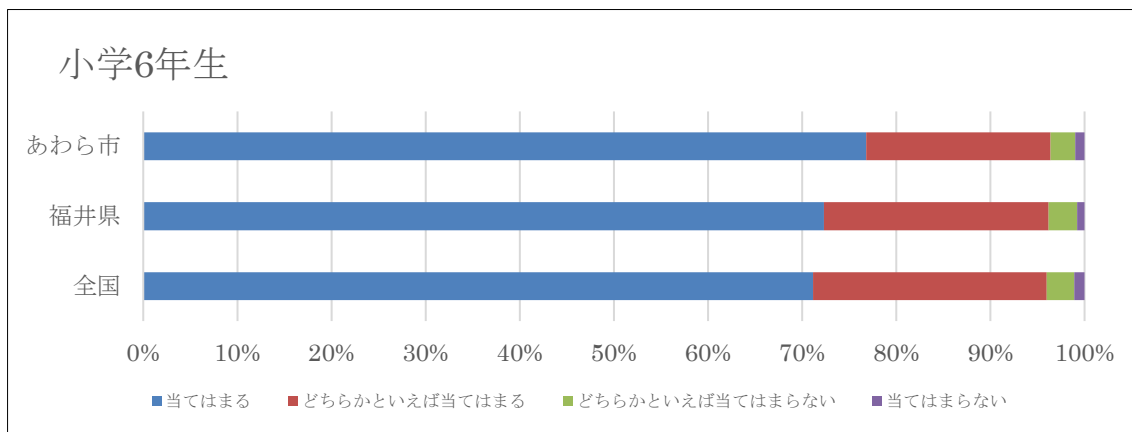
○自分には、よいところがあると思いますか。



○将来の夢や目標を持っていますか。



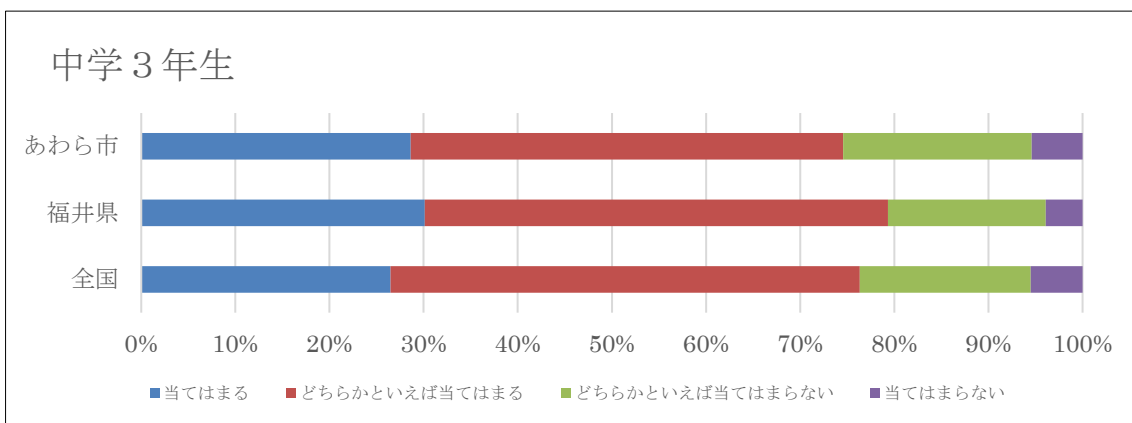
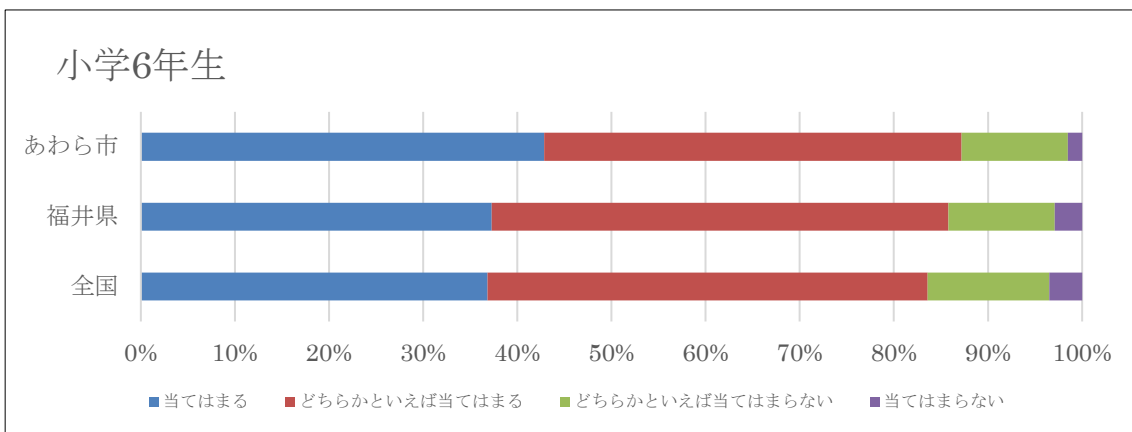
○人の役に立つ人間になりたいと思いますか。



社会性

地域のために貢献したいという意欲については、中は全国平均並、小は高いです。

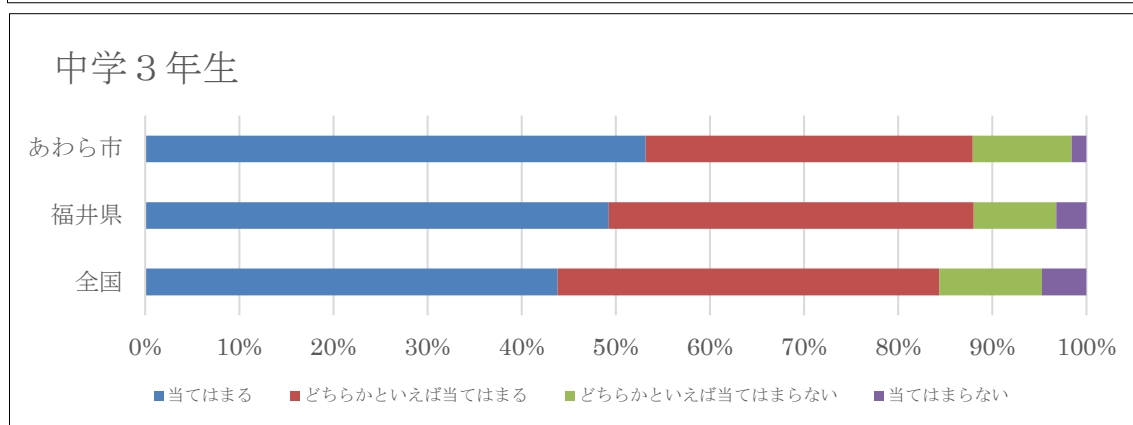
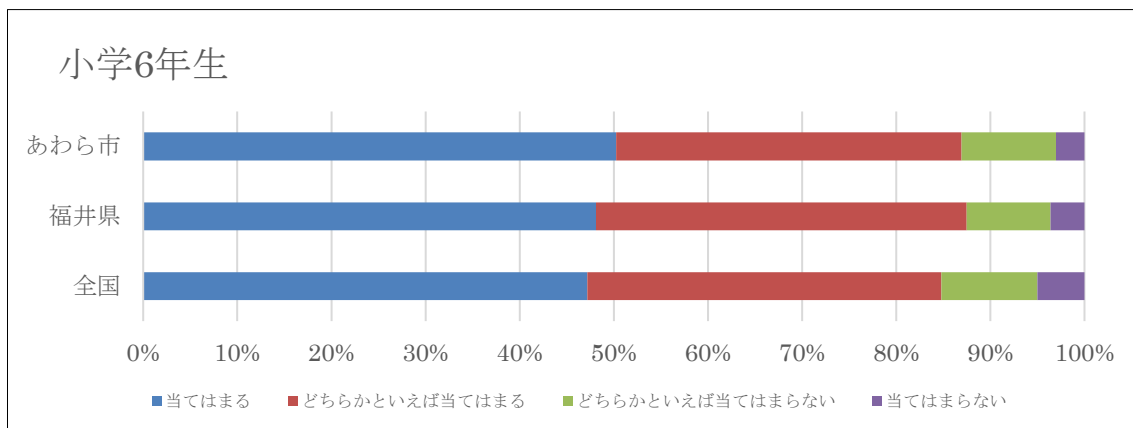
○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか。



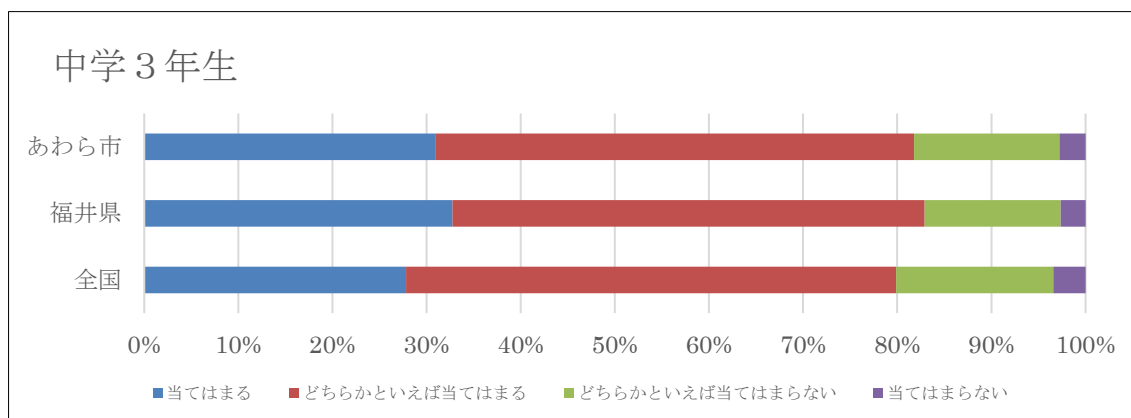
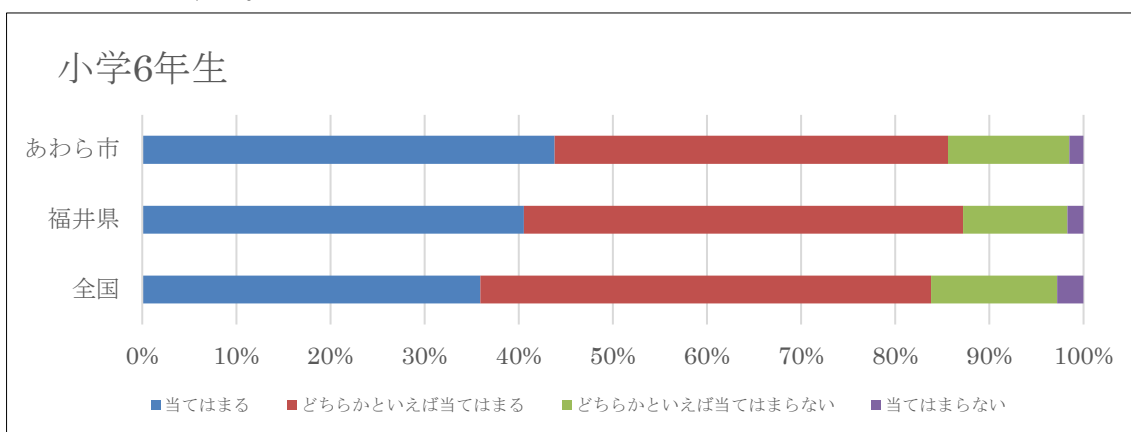
学習①

学校が楽しいと感じる児童生徒の割合が高いです。
 また、授業で学んだことをほかの学習に生かしたり、次の学習に生かそうとしたりして主体的に学習に取り組んでいる児童生徒の割合が高いです。

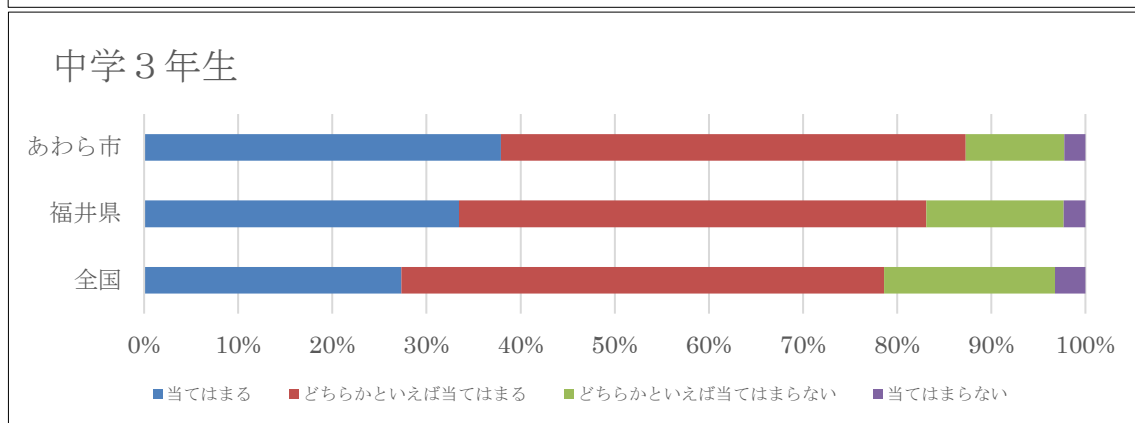
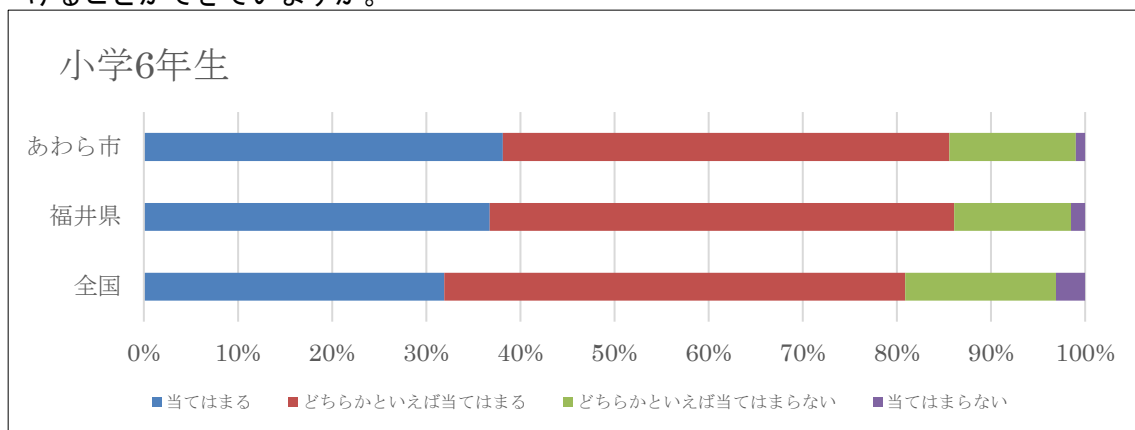
○学校へ行くのが楽しいと思いますか。



○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができますか。



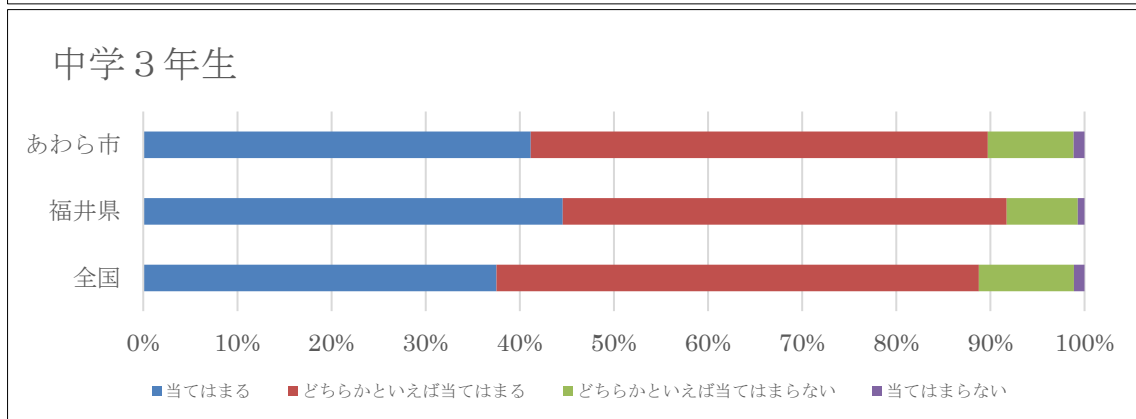
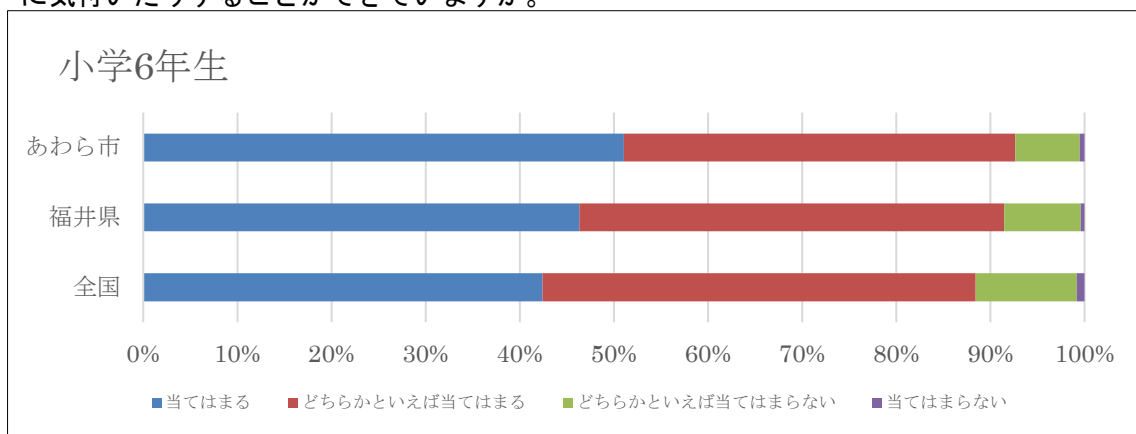
○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。



学習②

自分と違う意見について考えるのが楽しいと答えた児童生徒の割合が高いです。学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりできているようです。

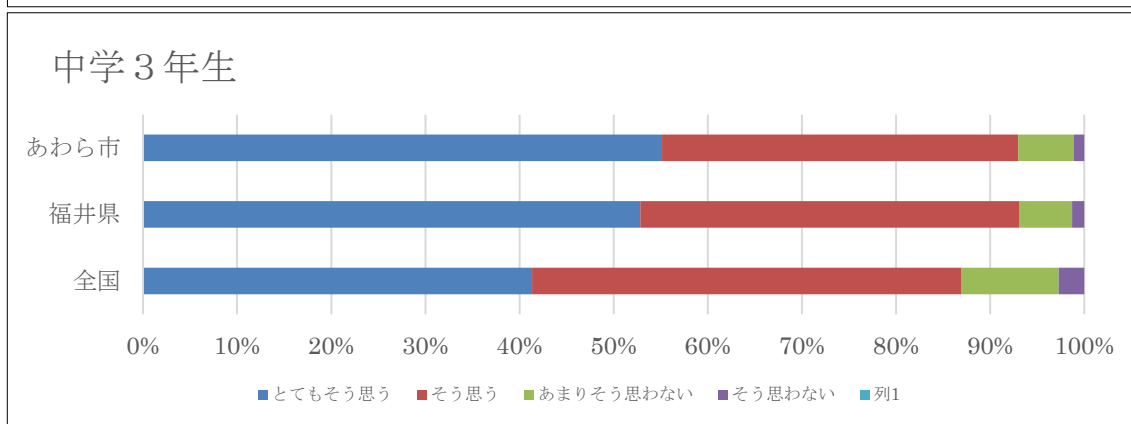
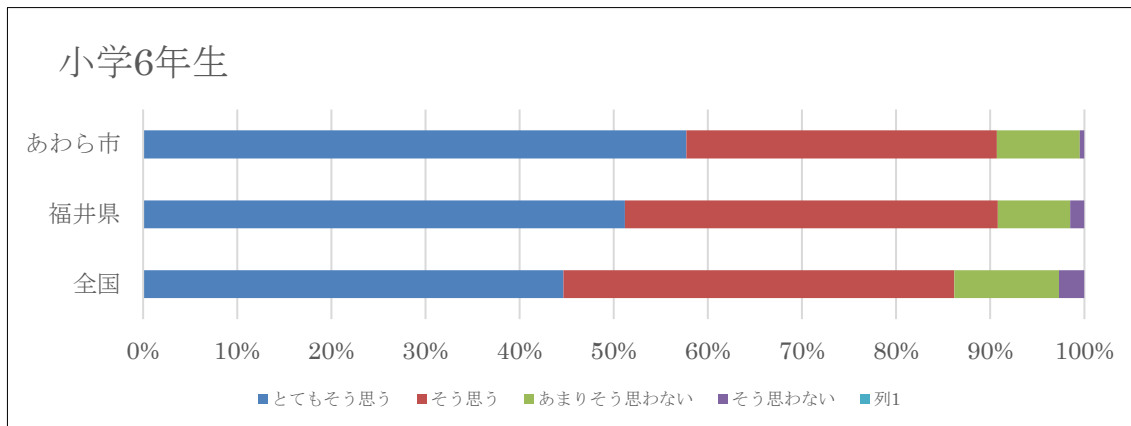
○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか。



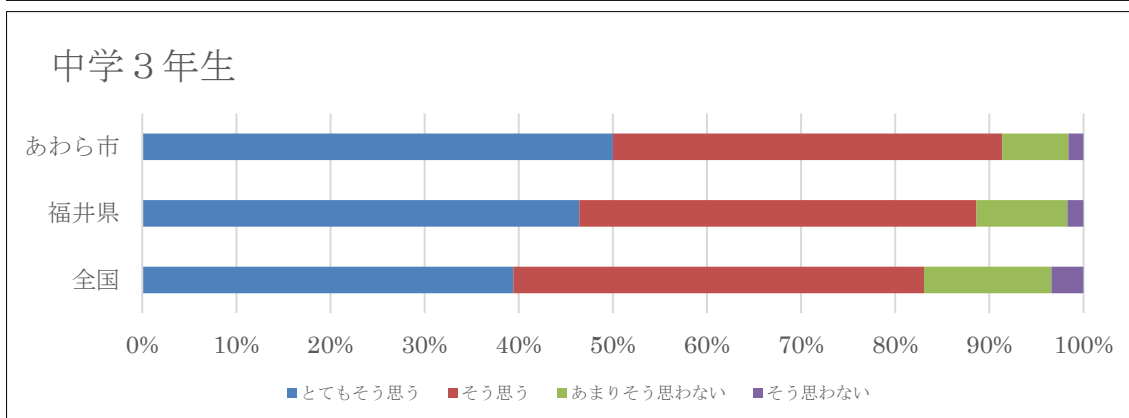
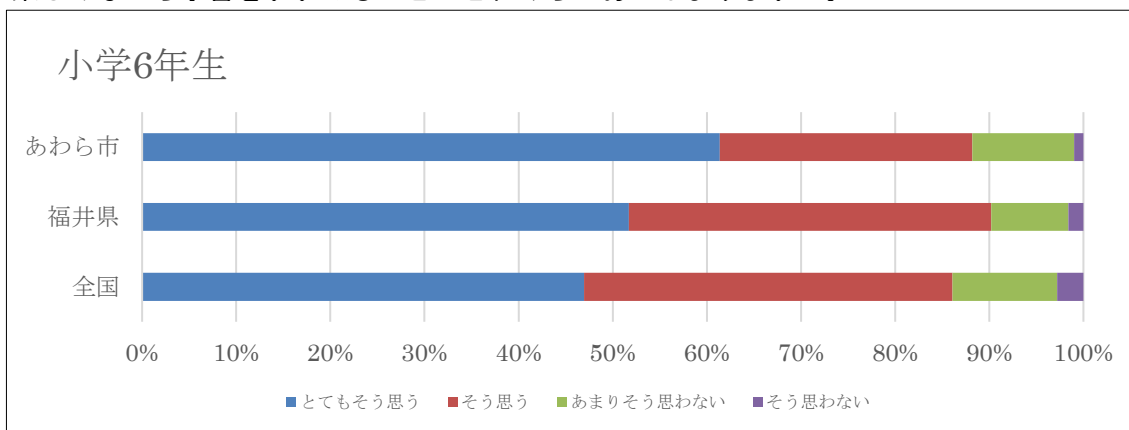
学習③

中3、小6ともに、それまでに受けた授業で、PC・タブレットなどICT機器を使用することは児童生徒の学習意欲向上に効果がみられます。

○中学校1、2年まで（小学校5年生まで）の学習の中で、ICT機器を活用することは、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなることにどれくらいあてはまりますか。



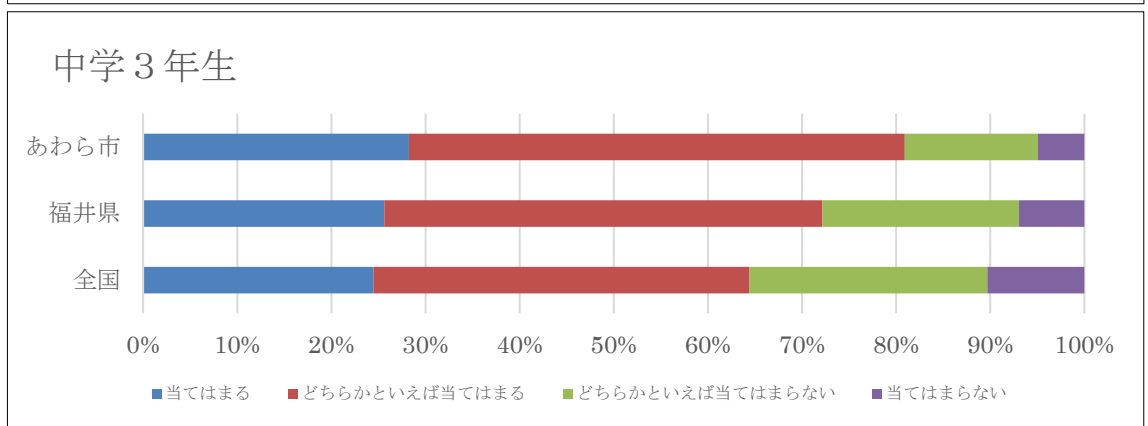
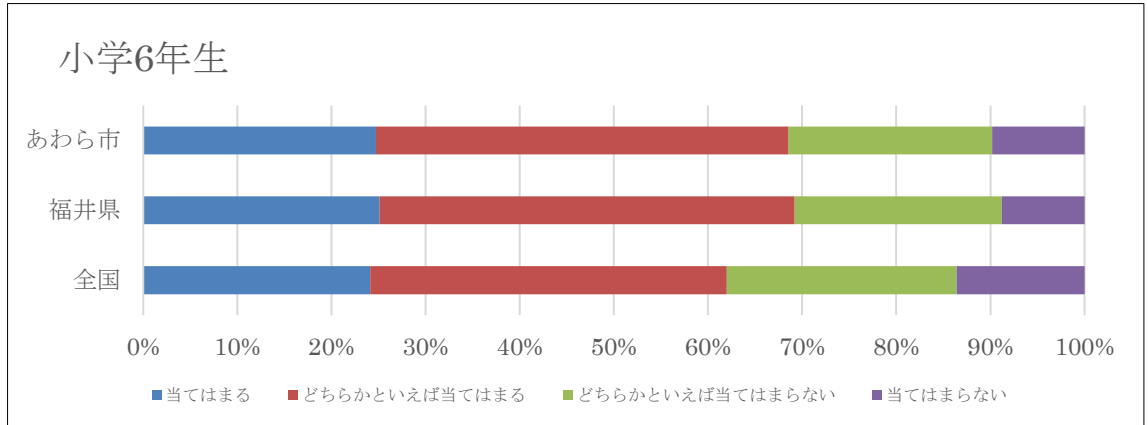
○中学校1、2年まで（小学校5年生まで）の学習の中で、ICT機器を活用することは、楽しみながら学習をすすめることにどれくらいあてはまりますか。



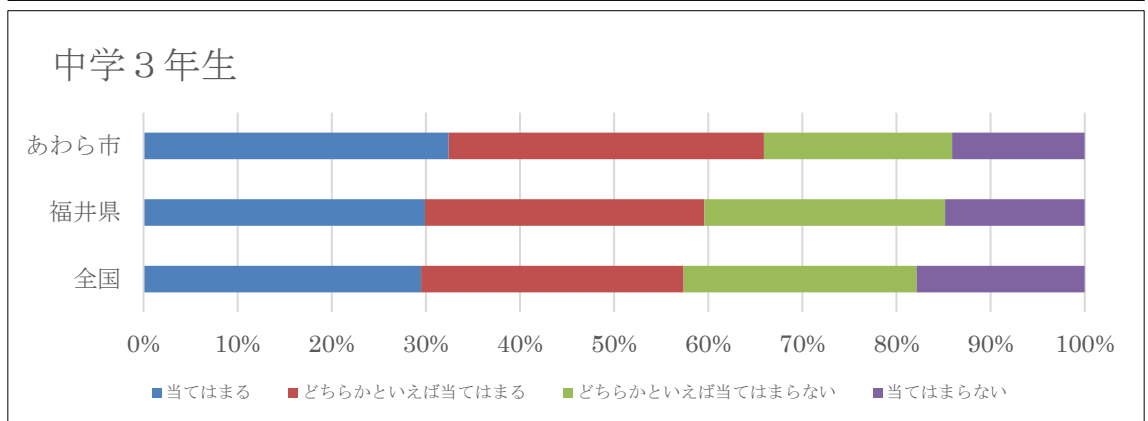
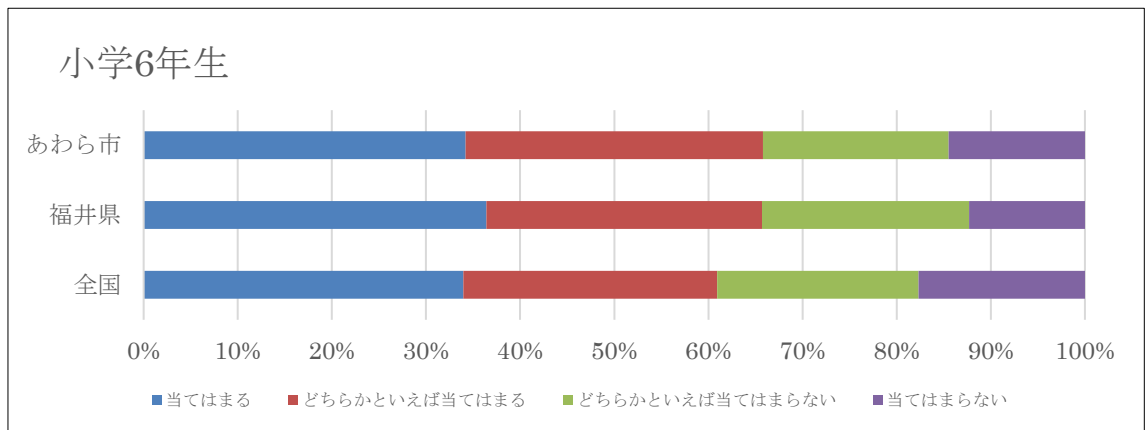
学習④

国語、数学（算数）について、その教科の勉強が「好き」、「どちらかといえば好き」と答えた児童生徒の割合は、国語、数学（算数）は小、中学校ともに高いようです。

○国語の勉強は好きですか。



○数学（算数）の勉強は好きですか。



問い合わせ先 教育総務課 ☎73-8039